

朝日航洋(株)、2025年7月より『AERO TOYOTA』に社名変更

朝日航洋株式会社(本社：東京都江東区、代表取締役社長：加藤浩士)は、2025年7月1日付で『エアロトヨタ株式会社(英文表記：AERO TOYOTA CORPORATION)』に社名変更いたします。



(新社名ロゴ)

【社名変更の経緯】

弊社は1955年の創業以来、「空にさきがけ未来をひらく」という企業理念のもと、国内屈指の地理空間情報技術を駆使した「空間情報事業」と、ヘリコプターとビジネスジェット機を軸とした「航空事業」と2つの事業をもとに、広く社会基盤の構築に挑戦・貢献し続けてまいりました。

1997年には、創業以来、誰もが自由に移動できるモビリティ社会の実現に向けて、空のモビリティに挑戦してきたトヨタ自動車株式会社(以下、トヨタ)のグループの一員となり、トヨタの拠点間の「空の移動」を支え、現在はJoby Aviationと共同でeVTOL※1による「新たな空の移動」へ挑戦しているところです。

2025年7月に創業70周年を迎えるにあたり、トヨタとのより強い連携を明確にするため社名変更を行うことを決定しました。

※1：電動の垂直離着陸機

【今後に向けて】

今後は新社名のもと、これまで培ってきた地理空間情報のノウハウを基盤に空のモビリティを駆使し、トヨタが目指すMobility for ALL※2の「一翼を担う会社」として社会に役立つサービスを提供し、お客様からより信頼され選ばれ続ける会社を目指してまいります。

※2：すべての人に移動の自由を



最新の地理空間情報技術による3D都市モデル/麻布台周辺



Jobyの米国外初飛行/東富士 トヨタ・Joby・朝日航洋の集合写真

【朝日航洋について】

航空事業では、民間ヘリコプター業界最大規模のサービスを提供する運航会社として、救急医療の現場で長年の実績を誇る航空医療搬送の運航や、地上からの接近が困難な山間地や海上への旅客及び物資の輸送などを幅広く展開。また、運航分野のみならず、機体整備や訓練事業なども行う、ヘリコプターとビジネスジェットを用いた総合運航サービスを提供しています。

空間情報事業では、最先端のデジタルセンサーを用い、計測技術（航空レーザ計測、モバイルマッピングシステム、海底探査など）と解析技術と融合させた高精度な空間データを作成・提供し、国土保全・行政支援・社会インフラの維持等に寄与しています。

【会社概要】

会社名：朝日航洋株式会社（AERO ASAHI CORPORATION）

所在地：〒136-0082 東京都江東区新木場四丁目7番41号

創 業：1955年7月20日

資本金：31億9,250万円

代表者：代表取締役社長 加藤 浩士

従業員：1,335人（2024年4月1日現在）

H P：https://www.aeroasahi.co.jp/

■この記事に関するお問い合わせ

朝日航洋株式会社 企画室

TEL：049-245-2548